

# 日本学生支援機構貸与型奨学金 継続申請の注意

---

---

学生生活課



# 必ず手続きを！

- **必ずご自身で手続きを行ってください**
- 継続する場合も、辞退する場合も手続きが必要です
- 奨学金継続願は**インターネット**で手続きします

手続き方法は次ページ以降をご覧ください

# 必ず手続きを！

- 奨学金継続願は**スカラネット・パーソナル**  
(インターネット)で手続きします
- 初回ログインには**事前のユーザID・パスワード**  
**の登録**が必須ですので、登録してから手続きください

詳しくは「スカラネット・パーソナル」で検索

# 必ず手続きを！

- 継続願手続き期間

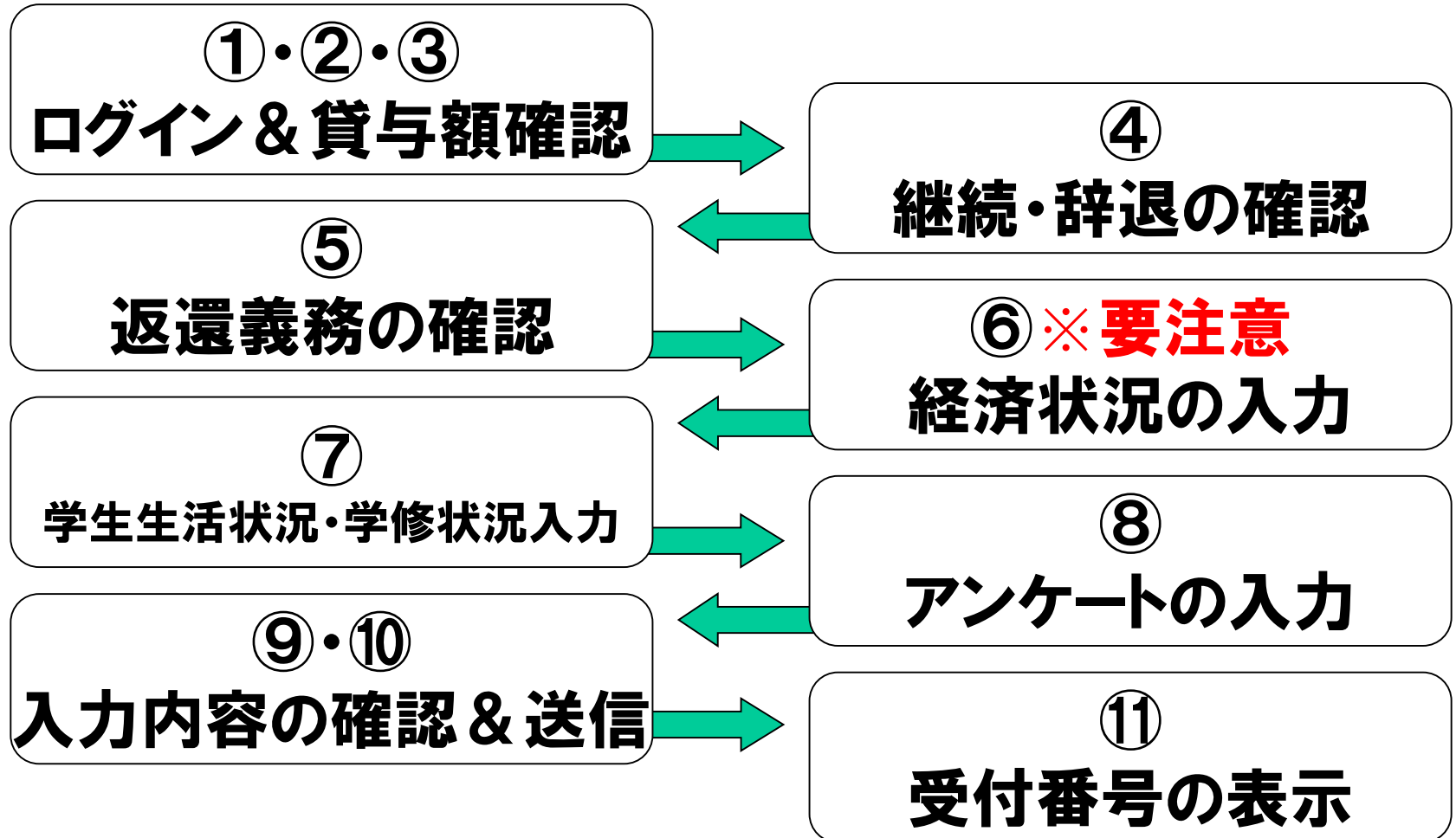
**12月15日(木)～**

**1月15日(日)**

# スカラネット・パーソナルでの手続

- 同志社大学奨学金オリジナルサイトに掲載している、  
**「貸与奨学金継続願」準備用紙**  
を参照し、手続きしてください
- 第一種、第二種奨学金を併用している方は、  
**それぞれの奨学金について**手続きが必要です。  
(例年、第一種だけ、第二種だけ手続きしているという間違いが目立ちます)

# スカラネット・パーソナルでの手続



# 手続き上の注意点

**継続希望者は誤って選択しないでください！**

✕ ④継続・辞退の確認で「辞退」

✕ ⑤返還義務の確認で「自覚なし」

⇒ **2023年3月をもって奨学金の  
貸与が終了してしまいます！**

## ⑥ 経済状況の入力

- ・ 収入金額合計と支出金額合計の差額が36万円(大学院生は45万円)

以上だと・・・

面接の上、次年度の奨学金額を

**減額指導**されます



# 入力時のポイント

- 基本は「収入合計＝支出合計」
- 記入金額の単位は「万円」

※ 小数点は使えません

× 学費988000 → ○ 「99」万円

- 記入金額は「年額」を入力

× 家賃「6」万円 → ○  $6 \times 12_{\text{ヶ月}} =$  「72」万円

※ただし、1年生は4月～11月の8か月分で計算のこと。

# 入力時のポイント

- 収入の

**「日本学生支援機構の奨学金」**

- 支出の

**「機関保証制度の保証料」**

※機関保証選択者のみ

**このふたつの欄は自動入力されます。**

# 誤りやすい事例

- **学費は親が払うから0円と入力した**  
⇒ 支出の「学費」と収入等の「父母からの給付」に入力が必要です。
- **自分の奨学金を弟の学費に回しているの  
で収入の方が支出より多い**  
⇒ 弟の学費については「その他の支出」として計上して下さい。

## 誤りやすい事例②

- **留学or就活のため資金を貯めているので収入の方が多い**

⇒将来的にかかる支出として、「その他の支出」に計上して下さい。

- **昨年度までは高校生だった。**

**高校の学費は・・・**

⇒1年生は大学入学後2021年4月～11月の8か月分の経済状況を報告します。

よって、高校の学費は計上不要です。 <sup>11</sup>

# 手続き上の注意点

## ⑧アンケートの入力で

「必要としている奨学金額」を入力する欄がありますが、ここで記入した金額の貸与が受けられる訳ではありません。

⇒増額・減額は学生生活課の窓口での手続きが必要です。

## 適格認定について（成績審査）

### ■ 停止措置

- 年間修得単位 **10** 単位未滿  
（半期休学の場合は **5** 単位未滿）

- **留年が確定** した場合

いずれも翌年の奨学金が1年間停止されます。

■ 休止…休学中は奨学金が休止されます。

→ 2年を越えて休停止期間が継続すると  
**辞退(廃止)扱い**となります。要注意！

## わからなくなったら・・・

- 入力方法等で不明な点があれば、  
まずは学生生活課まで尋ねてください。

**一度申請ボタンを押してしまうと、その後の修正ができません。**

**※ご自身の入力内容の確認もできません。  
注意して入力・送信してください。**

学生生活課  
(今出川)075-251-3280 (京田辺)0774-65-7430